歴史・自然・文化

いずみまるごとマップ

体験 散策

旦谷・谷当・下田
旦谷・谷当・下田町では、秩父三十四番供養塔を兼ねた道標が多い

崖の上の道祖神
本来、道祖神は道端に祀られるが、この道祖神は崖の上に祀られている

寒風湧泉
湧水による池。付近の谷津にはタヌキがひそむ

薬師堂
本尊は室町時代の薬師如来坐像

オオタカが見られる

姨嶽神社
入口に大きな庚申塔があり、こんもりした照葉樹林にはフクロウがすむ

真照院
本尊は161.5cmの薬師如来立像。裏には弘法大師爪彫の地蔵石仏が祀られている

梵天塚
出羽三山・秩父供養塔が並ぶ。真言宗の信仰圏で見られる。出羽三山参りは男性、秩父参りは女性が行った

「わたしの田舎」谷当工房
自然食品の研究・生産・販売、手づくり食品体験、米づくり・里山管理などを体験するクラブやキャンプ場の運営など、多彩な活動を行っている

堂谷津
昔ながらの谷津田が見られる

堂谷津池
近くに真照院の跡地がある。この池はトンボの繁殖地

地蔵菩薩坐像
土地の女性たちが病気の治癒や悩み事の解消を願ってこの像を洗い清めたりなでたりしたので、地蔵がツルツルになっていた。現在はなでる人がいないのでザラザラになってしまった

吉田農園
季節の野菜やフルーツの農産物直売所、収穫体験ができます。葉ボタンやパンジーも販売してます♪

下田にこにこ市民農園
市民農園で交流しませんか?

根古屋造りの集落
江戸時代、佐倉藩の武家屋敷のあったところで、敵の襲撃に備えて道を狭く、鉤の手状に曲げてある

大井戸館跡
千葉氏の出城といわれ、空堀と土塁の一部が残る

予和清水
湧水名は親がくむと酒、子がくむと清水、あるいは親がくむと清水、子がくむと酒という伝説から。予和清水伝説は印旛沼周辺に多い。流れにクレソンが生息している

姥の墓（茶福神）
大井戸館に住んでいた姥の墓と伝えられ、石棺（一部）上に五輪塔の空輪部分と推定される石3個が並んでいる。風邪の神様とも。昔は大きな古墳であった

センガシの墓
江戸末期、1000カ所の寺をめぐる修行をしていた僧がこの地で行き倒れたため、村人が手厚く葬ったと伝えられる

鹿島川
テナガエビ、スジエビ、カゲロウ、トンボ、サナエ、コイ、フナ、ドジョウ、メダカ、オイカワ、クチボソ、スナヤツメ、ウグイ、カマツカ、ギバチ、モツゴなどが生息する

千脇治郎右衛門屋敷跡
天保7(1836)年、上泉村の割元であった治郎右衛門は代官の不正を領主戸田氏に訴え、これが困窮した農民を救うきっかけとなった

女城城址
千葉氏関係の出城の跡といわれ、土塁や曲輪などが残る

競馬道
江戸～明治時代、馬の強さ・速さを競う乗馬会が開かれた。道幅が広く、当日は多くの見物人が集まった

宝泉寺
千脇次郎右衛門の菩提寺

慈眼寺
山号の「田中山」は田んぼのなかにあるところから

淡島神社
安産、縁結びの神様として信仰されている

ドンドン堰跡
用水路の堤防決壊を防ぐためにつくられた堰の跡。落差が6mもあり、水音がドンドンと聞こえたという

いずみの森
整備された里山。周辺の谷津や鹿島川のながめがよい

ハナンドン塚
火の神を祀る。以前は3月に子どもたちによって火災のないことを祈る行事が行われた。この塚をいじると火事が起きるという伝承がある

原田池
この池には白蛇がすんでおり、人が近づくと引きずり込むと言う。伝説を言い聞かせて子どもたちの安全を守っていた

炭焼き窯
かつて炭焼き窯は20軒に1窯、町内に5カ所あったが、今はこの窯しか残っていない

風景谷（風ヶ沢）の険
徳川家康がこの辺りで休憩し、西に広がる千葉野を一望し、その雄大さに目を見張ったといわれる

大六天稲荷神社
ツバキ・スギ・ヒノキの古木が見られる。スギはいずみ地区で一番の巨木

天神様が祀ってある

乳牛育成牧場
農家から預かった100頭あまりの子牛が成牛になるまで飼育されている

本城寺
延徳元（1489）年、戦国武将酒井定隆がかつて城主であった中野城跡に、日泰上人を開山として建立した顕本法華宗の寺。寺名はもと城のあった寺の意味で、7月18日の祭礼は「日泰様」と呼ばれる

浅野フルーツ園
フルーツの収穫体験と直売を行っている。ナシやブドウ、ブルーベリー、秋の味覚の柿や栗が楽しめます

おなりミルク工房
牛乳や手づくりアイスクリームを販売

ヒガンバナ群生地
富田分校から八幡神社にかけての農道のへり、田のあぜなどに咲く。見ごろは9月下旬～

弁財天
かつては水商売の神様として信仰され、生きたマムシを供える風習があり、縁日は大変賑わった。今、昔日の面影はなく、社は移動された

猪野ナーセリー
ブルーベリー摘み取り体験と季節の花壇苗を販売♪

骨神様
明治時代の開墾により石棺・人骨・直刀が出土。古墳跡であるが、通称を骨神様といって石棺の一部を歯痛の神様として信仰していた。出土した宝物は真光寺に納めたが火災によりなくなった

更科小学校富田分校
千葉市内で唯一の分校。周辺にタヌキが出没。畑のメロンを食べられたりすることも

メドッコ
洞穴で、中野城からの抜け穴とも水道ともいわれる

中野生産組合
野菜や花、卵、漬物、米を販売

妙音坊
土井利勝の別荘「泉の茶亭」跡だといわれている

諏訪神社
鎌田の鎮守。10月18日の祭礼日には、獅子舞が奉納されていた

御茶屋御殿跡
広々としていて徳川将軍の御殿の規模がイメージできる。周囲の土塁やV字型の空堀もお見逃しなく。周囲の畑にキジのつがいが出没する。社が2つあったが1つは御殿町の公民館に納められている

ねぶ塚（念仏塚）
本乗寺（廃寺）が真言宗から日蓮宗に改宗するとき、仏具・経文などを埋めたと伝えられる

ちはる農園
オシャレなハウスで完熟いちごの摘み取り体験＆直売。様々な体験やイベントも行っています♪

御霊神社
いずみ地区で巨木・古木が一番多い神社

六社神社
真光寺の塔頭の一つで、古道の起点にもなっている

ダイダラボッチ
ダイダラボッチと呼ばれる大男の足跡の形。ここは台地の形が上から見ると足跡の形をしているという

旭の祖師様
辺りには古墳が数基残っている。昔、村に病気が流行り、古墳の祟りとおそれた村人が台地上に日蓮上人の浮き彫りを祀り、病気退散を願った。この台地は朝日が一番早く当たる場所だといわれている。村に悪いものが入らないように守るため祀られていた

遠坪遺跡
人骨、江戸初期のものと推定される古銭が出土

長光寺跡
妙興寺の下寺であったが、山武町埴谷に移った

姫塚
姫池に入水したさらしな姫を村人が葬った墓と伝える

えんどう山
方墳。村が困ったらこの塚を掘れ、という言い伝えがあり、あるとき掘ってみると、ボロボロの刀らしきもの以外何も出土しなかったという

（一社）千葉市園芸協会
千葉市内産の野菜と花の直売所です♪

大六天神社
祭神のオモダルノミコトは天神7代の第6番目の神様。大地の表面の完成をつかさどる

しだれ桜
泉自然公園内の寺跡から移植。巨木として有名な山武町埴谷長光寺のしだれ桜の親木であるといわれている

千葉中谷津
4月末、雑木林がナラの若葉で白くかすんで見える

花沢いちご園
毎朝摘みたてのイチゴを直売所で販売しています!!

姫池
北条氏の娘のさらしな姫が中田村の旧家に嫁いできたが、姑との折り合いが悪く、悩んだ末に池に身を投げたと伝えられる

火消神様

妙興寺
建治元（1275）年開基とされ、千葉市で二番目に古い寺。もとは上人塚の東側にあった。10万石の格式があり、周囲の大名も門前を通るときは籠から降りなければならなかったといわれる

宮田の川井坂追分
昔の佐倉道・旧東金街道・千葉道の分岐点で、旅籠屋があった

八反目遺跡
縄文後期の貝塚

お杖桜
日蓮上人が妙興寺開基檀越の曽谷直秀（道崇入道）を訪れたとき、刺した杖が根づいたサクラと伝える

レンタルハウスいちご園（花沢いちご園）
契約すると、いつでも一定区画の旬のイチゴを摘める。甘い香りに包まれて食べる摘みたてのイチゴの味は格別

泉自然公園
水仙、カタクリ、ショウブなどが次々に咲き乱れる。森林浴やバードウォッチングもできる

蕎麦御休憩処 しらい庵
100%国産粉使用！地産地消にこだわった地元愛に溢れたお蕎麦屋です!!

白井小学校
学校の敷地内に道路元標がある

紅葉の名所

三本杉
1本の根元が3本に分かれている珍しいスギ

旧大網街道
明音坊から大網方面へ向かう古道。一部は林の中に昔のままの姿で残されている

慈眼寺（清水不動尊）
妙興寺末寺。参道入口に不動明王出現を伝える湧水があり、いぼ取りに霊験あらたかとわれる。桜の名所。8月27日の大祭では周辺で花火大会が行われる

上人塚
永仁元（1293）年に没した妙興寺開山の日合上人の墓をはじめ、歴代住職の墓石が並ぶ

大池
以前は、農業用ため池として渇水時の取水源としての役割を果たしていたが、現在は、親水施設として地域住民の潤いと安らぎの場となっている

凡例

- ⛩ 神社
- 寺
- 馬頭観音
- 道標
- 道祖神
- 花の名所
- 〒 郵便局
- 学校
- 巨木・大木・古木
  - 巨木…極めて大きい樹木
  - 大木…幹の周長が1m以上で目立つ樹木
  - 古木…推定樹齢100年以上の目立つ樹木
- コミュニティバス停留所
- 観光農園・農林業体験施設
- 農産物直売所

いずみの古道

いずみには、昭和初期まで人びとが徒歩や馬車で行き来した古くからの道が残っており、道筋には寺社や旧跡、石碑、石仏が点在しています。かつての村の情景や人びとの生活をしのび、のんびりと古道歩きを楽しんでみませんか。

御成街道（新東金街道）	船橋と東金をほぼ一直線に結ぶ。慶長19（1614）年、徳川家康が土井利勝に命じてつくらせたもので、権現道とも呼ばれる。比較的交通量が多い。
佐倉道	中田・古泉・上泉・下泉などの村人が佐倉・成田へ行くのに利用した道で、年貢米の輸送路や生活道でもあった。ほとんど大地のへりを通っている。
千葉道	富田・古泉・中田などの村人が千葉町へ行くのに利用した道で、駄賃道、古泉道とも呼ばれる。今も古道の面影を強く残す。
川井道	上泉村宝泉寺から川井村栄久寺を結ぶほぼ直線の道。上泉村と川井村の名主が互いに行き来した道ということからか、旦那道とも呼ばれた。
旧東金街道	千葉町と東金町を結ぶ。康正元（1455）年、東常縁が東金城主浜春利に命じ、軍用・産業道路としてつくらせた。旧道はごく一部しか残っていない。

拠点施設
トイレ、駐車場があります。
いずみ地区散策の際はこちらの駐車場をご利用ください。

- 歴史・文化
- 体験施設・直売所
- いずみの自然

編集：千葉大学工学部デザイン文化計画研究室
協力：泉郷土史研究会　前角 榮喜
：いずみグリーンビレッジ推進会議
発行：千葉市
電話：043-245-5757
Email：nosei.EAA@city.chiba.lg.jp　（2019年3月現在）